

## 2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
理科	物理（後半）	2	3年次	藤井 隆徳			
使用教科書	東京書籍 「物理」		使用副教材	数研出版「リードLightノート物理」 駿台文庫「センター試験物理 単元問題集」			
科目の目標				道徳教育のねらい			
1. 物理的な事物・現象に対する探究心を高める。 2. 目的意識を持って観察・実験などを行い、物理的に探求する能力と態度を身に付ける。 3. 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身に付ける。 4. 科学技術の在り方について意思決定するために必要な、科学的な見方や考え方を身に付ける。				科学的に探求する能力と態度と自然観を学び、それらを日常的に積極的に活用する態度を育てる。			
学習活動内容		市函D P（本校で身に付けさせたい6つの資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自己認知・協働力	計画実行力
1	電界と電位		○	○			○
2	電流		○	○			○
3	電流と磁界	○	○	○		○	
4	電磁誘導と電磁波		○	○			○
5	電子と光		○	○			○
6	原子と原子核	○	○	○		○	
7	グループワーク			○	○	○	○
8	考查	○	○	○			
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断		技能		知識・理解
	物理現象に対して、興味・関心を高め、知的好奇心をもって問題を見だし、主体的に解決する態度を養う。		自らが見つけた課題に対し、目的意識をもち、見通しをもって観察・実験などに取り組む態度を養う。		探究活動を通して、仮説、観察・実験、結果、考察、法則性の導出、発表から物理学的に探究する技能・表現を養う。		観察・実験などを通して得られた結果から、物理的な事象・現象の基本概念や原理・法則などの習った知識・理解を深める。
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	定期考查	単元テスト	その他の資料	
	関心・意欲・態度	○	◎				
	思考・判断	◎		○	○		○
	技能	○		○	○		◎
知識・理解	○		○	◎	◎		

# 物理（後半） 授業計画

授 業 計 画				実 施 状 況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	第4編 電気と磁気 1章 電界と電位 2章 電流	電気や磁気に関する現象を探究し、電気と磁気に関する基本的な概念や法則を系統的に理解する。	コンデンサー 電流 直流回路 磁界（磁場） 電流のつくる磁界 電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 電磁誘導の法則 自己誘導と相互誘導 交流 電磁波		
	5					
	6					
		前期中間考査				
	7	4章 電磁誘導と電磁波				
	8					
	9					
						前期期末考査
	後 期	10				第5編 原子 1章 電子と光
11		2章 原子と原子核				
12						
		後期中間考査				
1						